



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動



都心部における道路空間を活用した社会実験（BASHAMICHI YARD）
に関する調査結果について

令和4年 5月27日

社会実験「BASHAMICHI YARD」を実施しました。

～ウォーカブルなまちづくりに向けて～

中心市街地のウォーカブルなまちづくりに向け、東武宇都宮駅と大通りの交通結節点である東武馬車道通りにおいて、居心地の良い空間づくりを行い、その効果や実現性を検証するため実施した社会実験「BASHAMICHI YARD」に関する調査結果について報告します。

○ 社会実験の概要

実施主体：宇都宮市及び宇都宮大学

実施場所：東武馬車道通りの西側北進車道の一部
（裏面の通り）

実施期間：令和4年3月24日（木）から3月27日（日）

○ 実施内容

- ・ 車道に人工芝と木製のベンチを設置
- ・ 樹木を設置し、木陰を確保
- ・ 利用者の行動調査や周辺店舗へのアンケート調査などを実施

○ 調査結果の概要

<利用者の行動変容>

- ・ 日中（9時～16時）において、各日100人～200人程度の休憩や飲食などでの利用が見られた。
- ・ 5分以上の利用が約4割あり、普段何気なく通り過ぎる道路空間における行動の変容が見られた。
- ・ 幅広い世代での利用があったが、特に30代前後が多く、休日は子育て世代が家族連れで利用する姿が多く見られた。
- ・ 利用者から社会実験に対する好意的な意見が多く、中には常設を望む声もあった。

<沿道店舗等の取組>

- ・ 商店街や沿道店舗による花壇の植え替えや鉢植えのワークショップの実施、社会実験の様子を動画にしたSNSへの投稿などの独自の取組への波及が見られた。

【道路空間を活用】



裏面あり

<問い合わせ先> 都市整備部NCC推進課 課長 上田 英夫(028-632-2898)



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動

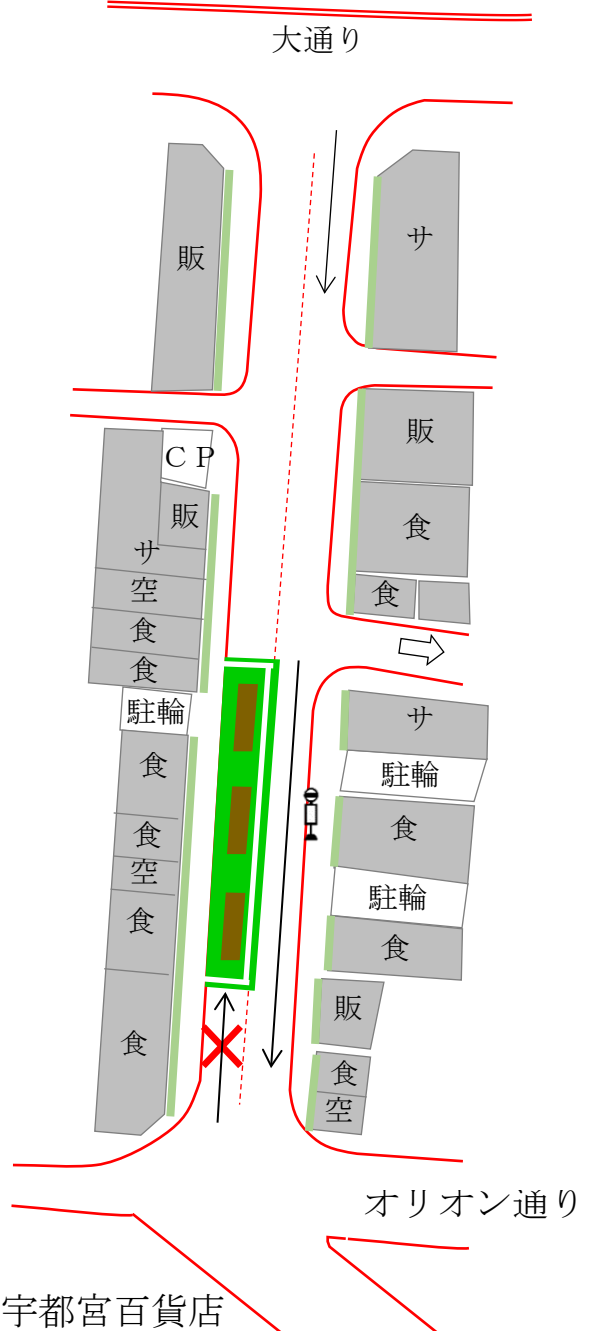


○ 今後の進め方

- 多くの歩行者が立ち寄り、居心地の良い空間づくりの有効性が確認できた一方で、周辺交通を考慮したエリア設計や沿道店舗の参加促進などの課題も見られた。
- 今回の社会実験の検証結果を踏まえ、令和4年度の実施内容について、沿道店舗等と検討していく。

【BASHAMICHI YARD 実施エリア】

【社会実験中の利用者の様子】



＜問い合わせ先＞ 都市整備部NCC推進課 課長 上田 英夫 (028-632-2898)